

利賀っ子だより



R4. 6. 15

○ 「雨でもやっぱり・・・」

昨日、北陸地方の梅雨入りが発表されました。今日は、朝から雨が降っていました。

毎朝、子供たちは、登校後、大忙しです。全校がグループに分かれて畑で育てている白爵カボチャ、関西電力さんのご協力で一人一本植えたグリーンカーテンのゴーヤやヘチマ、それに加えて、5年生と3年生は理科の学習で育てているトウモロコシやホウセンカ等、1・2年生は、生活科でそれぞれが育てているキュウリやオクラ等の夏野菜、そして、1年生はアサガオとたくさんの植物のお世話があ



【雨の日の畑】

るからです。花壇には、小中学生縦割り班で植えた花もあります。今朝は、雨なので水やりは必要ないから、畑にいる子供はいないだろうと思っていると、3年生と1年生が畑にいました。「今日は雨だね。」と話しかけると、返ってきたのが、1年生のTさんの上のつぶやきでした。毎日、畑に行っているのは、水やりをするためだけではないということ言いたかったのだと思います。植物の世話を「しなくてはいけない仕事」として行っているのではなく、自分の大切な植物を相手にして「したいからする」行為であることを感じ、嬉しく思いました。

○ 登校中の出来事



【登校の様子】

先日から本校の付近でクマの目撃情報があり、外出の際、クマ鈴を携行し、集団で行動するよう指導しているところです。職員も手分けをして、通学路で見守りをしています。

今朝のことです。全員がバスを下車したのに、なかなか歩き始めません。中学生が話し合いをしていたのです。

「小学生の前と後ろに（中学生が）付いた方が安全」「それより、（崖から守るために）横に並んだ方がいいかも。」

「今日は、傘があるから横に並ぶと広がり過ぎる。」

昨日、一昨日の登校の仕方から、より安全な方法について相談していたのです。

小学生は、それを黙って聞いていました。先輩方の思いを感じ、自分も大きくなったらこうありたいと願ったのではないかと思います。

梅雨に入りましたが、さわやかな利賀っ子たちでいっぱいです。（高田 公美）

